

中リハ通信 2 「中部リハから発信いたします」

中リハ通信をご覧いただき、ありがとうございます。担当しております鳥居と申します。平成27年10月より当校の夜間部教員となりました。私は当校の夜間部10期生であり、平成17年に卒業しました。

約10年間、理学療法士(P.T.)として勤務し、このたび母校へ戻ってまいりました。



当校のこと、さらにはPTのことをご存知の方には、わざわざPTのことを多くの方に知っていただくため、イラストを交えて学校の特徴や雰囲気、さらにはPTの現場のことをご説明してきたいと思います。

これからPTを目指していらっしゃる方も、また

はリハビリの分野に興味がある

方も、どうぞゆくりとご覧になってください。



理学療法とは、身体に障害のある方に対して、主に基本的動作能力の回復を図るため、運動、電気刺激その他の物理的手段を加えることをいいます。

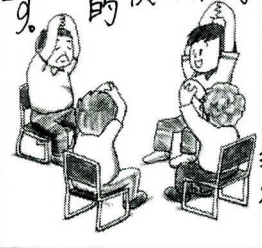
病気やケガによる障害をかかえて入院治療が必要になった方々が、急性期病院から回復期病院を経て、老人保健施設や訪問リハビリなどの生活期へと障害の回復とともに移っていく際、どの場面でもリハビリ専門職としてPTがサポートしていきます。



急性期
病院内
回復期
病院内
生活期
在宅
訪問
施設



超高齢社会を迎えようとしている現在では、体に障害をかかえた方だけでなく、元気な高齢の方にも介護が必要なたい運動を行いたいという仕事も増えています。



当校は昭和57年に開校した歴史のあるPT養成校です。これまでに、約1800名の卒業生が巣立っていき、全国各地で活躍しています。ちなみに愛知県内のPT数はおよそ5000名です。当校の卒業生の多さが分かっていただけますでしょうか？

教育では、より実践的な知識や技術の指導を心がけ、母体病院との連携、専任教員の専門技術の向上、臨床実習教育の充実を図っています。

もちろん国家試験の合格率は毎年全国平均を上回っており、厚労省が行っている「専門実践教育訓練給付金」の対象学科(昼間部)にも指定されています。



昼間部(3年制)と夜間部(4年制)の学科があり、生活に合わせて学ぶことができます。今後、この通信をお送りして、中リハのことをどんどん紹介していきます。

